

○ みらいちゃんの棚田教室 in 畑野小学校 令和8年6月5日

- 佐渡市立畑野小学校の5年生を対象に、棚田教室を実施。
- 小倉千枚田において、棚田の歴史や金山との関わり、棚田の維持・管理について、小倉千枚田管理組合の皆様や、佐渡自然塾 相田氏から説明いただくとともに、生き物調査を行い、棚田の生態系や環境保全の重要性、棚田で農業が続けられなくなった場合を考え、棚田の役割や重要性について理解を深めた。



棚田の歴史や金山との関わりの説明



生き物調査の様子



棚田の維持・管理に関する説明



ふりかえり学習

【みらいちゃんの棚田教室】小倉千枚田 生きもの調査野帳

調査実施日	令和 8 年	月	日	調 査 時 間	:	~	:	
調査者情報	畑野小学校		年	調 査 者 氏 名				
種 名		チェック	種 名		チェック	種 名		チェック
カエル類	* おたまじゃくし			水生カメムシ類			水生コウチュウ類	
				* タイコウチ			幼虫	
	* ツチガエル			* ミズカマキリ			ゲンゴロウ類	
	* サドガエル			* コオイムシ			ガムシ類	
	* ヤマアカガエル			* マツムシ			ゴマフガムシ類	
	* モリアオガエル			* コミズムシ			コガシラミズムシ	
	* ヒガシニホンアカガエル			* アメンボ類			成虫	
	* アカハライモリ			陸生カメムシ類			* ヒメゲンゴロウ	
	* クロサンショウウオ			ホソハリカメムシ			ヘイケボタル	
	* ウシガエル			オオトゲシラホシカメムシ			* ガムシ	
			アカスジカスミカメ			* コガムシ		
* ドジョウ			アカヒゲホソミドリカスミカメ			ヒメガムシ		
* メダカ						* ゴマフガムシ類		
魚類	タモロコ			幼虫（ヤゴ）			コシマゲンゴロウ	
	モツゴ			* イトトンボ類			クロゲンゴロウ	
	フナ			* シオカラトンボ類			* コガシラミズムシ	
	コイ			* アカネ類			陸生コウチュウ類	
	ナマズ			* ギンヤンマ類			* イネドロオイムシ	
	タイリクバラタナゴ			* オニヤンマ類			イネソウムシ・イネミズソウムシ	
				成虫（トンボ）			* カワニナ	
	アオダイショウ			* オオイトトンボ・クロイトトンボ			* マルタニシ	
	シマヘビ			* キイトトンボ			* モノアラガイ	
は虫類	マムシ			* シオカラトンボ類			* サカマキガイ（外来種）	
	ヤマカガシ			アカネ類			ドブリシジミ類・マメシジミ類	
	カナヘビ			ナツアカネ			ヒラマキミズマイマイ類	
	クサガメ			アキアカネ			* ミズムシ	
	イシガメ			ウスバキトンボ			スジエビ	
				ノシメトンボ			ヨコエビ	
				ギンヤンマ類			* アメリカザリガニ	
				オニヤンマ類			(魚付何種定外準定種)	

生き物調査シート

棚田を守る人たちの努力を実感

- ・週に何度も、田んぼや水路の状況を確認している
- ・少ない人数で広大な棚田を守っている
- ・モグラが開けた穴を埋めて水漏れを防いでいる
- ・機械が入れない場所では、人の手で管理している
- ・生き物が暮らしやすい環境づくりにも取り組んでいる
- ・少ない人数で管理を頑張っている
- ・棚田を守るのはとても大変

棚田の景観や、自然環境が地域の方々の日々の努力によって支えられていることを学びました



▲小倉千枚田管理組合の方々から、棚田を維持するための苦労を伺いました

棚田は多くの生き物を支えている

- ・家の近くの田んぼでは見られない生き物がいた
- ・棚田の自然があるから、生き物が暮らせる
- ・トキなどのために農薬を使わないことが大変だと感じた

棚田はお米を作る場所であると同時に、多くの生き物のすみかであり、大切な環境であることを実感しました

◀棚田で見つけた学びをみんなで共有しました



棚田がなくなったら、どうなってしまう？

- ・お米が食べられなくなる、米不足になってしまう
- ・トキや生き物が減ってしまう
- ・自然豊かな佐渡らしさが失われる
- ・棚田を守っている人たちの仕事がなくなる

棚田から広がる、子供たちの新しい視点



みらいちゃんの棚田教室

in 畑野小学校

なぜここに千枚田があるの？



棚田さんから
小倉千枚田の
成り立ちを
聞きました



佐渡自然塾 相田満久氏



何がいるかな？

棚田から学ぶ 自然と人のつながり

6月5日、佐渡市立畑野小学校の5年生たちが、小倉千枚田を舞台に、生き物調査や水源となる滝の見学、地域の方から棚田の維持管理について学びました。棚田に息づく豊かな自然や、それを支える人々の努力に触れながら、地域資源としての棚田の価値を考える一日となりました。

受入地域の声

（小倉千枚田管理組合）

子供たちが生き物や自然に対して好奇心いっぱいに取り組む姿が印象的で、こちらと一緒に楽しく活動することができました。受入れには準備や調整も必要ですが、地域の大切な財産である棚田を子供たちに知ってもらえる意義は大きいと感じています。

教育現場の声

（畑野小学校）

地元の資源である棚田を、子供たち自身の目で見て感じてもらうことができてよかったです。多くの方々への支援があつて実現できたことに感謝しています。

講師の声

（佐渡自然塾 相田氏）

日常では体験できない場所を自分の足で歩き、自然の中で学べたことは、貴重な経験になったと思います。こうした学習を多くの学校で継続的に実施できれば、棚田や自然環境への理解を深める良い機会になると思います。

生き物調査と滝見学で広がった自然への興味

- ・モリアオガエルの卵を初めてみた
- ・オタマジャクシがたくさんいた
- ・いろいろな生き物がいた
- ・滝の水はとても冷たかった



生き物
たくさん
見つけたね！



▶モリアオガエルの貴重な産卵シーンに出会いました！

◀カメラに向かって元気いっぱいポーズ！

